

# 現場調査

昭和30年8月6日

天候 曇 - 時々立

湿度 38%

温度 C 21.5°

## 作業概況

又白テト出資 (8.30) 現場到着と同時に準備開始 (10.00)  
(8.20時) (10時)

現場測量作業開始	10.30時
" 終了	12.30 "
ガス試験 開始	12.40 "
" 終了	13.05 "
セウウ作業 開始	13.15 "
" 終了	14.10 "
全作業終了	14.10 "

前木頂上へ昼食 出発 15.00

テト着 15.30分

テト撤収出発 16.45分 上高地着 22.30分

## 調査班

石原一郎 石原国利 沢田幸介 長谷川光雄 毛塚一男 行保経男

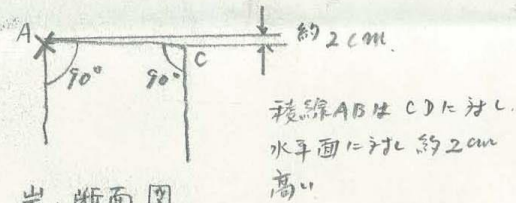
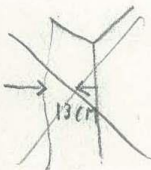
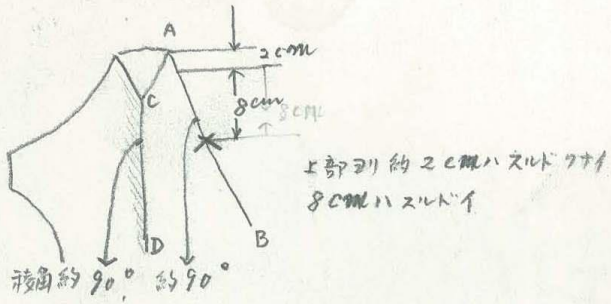
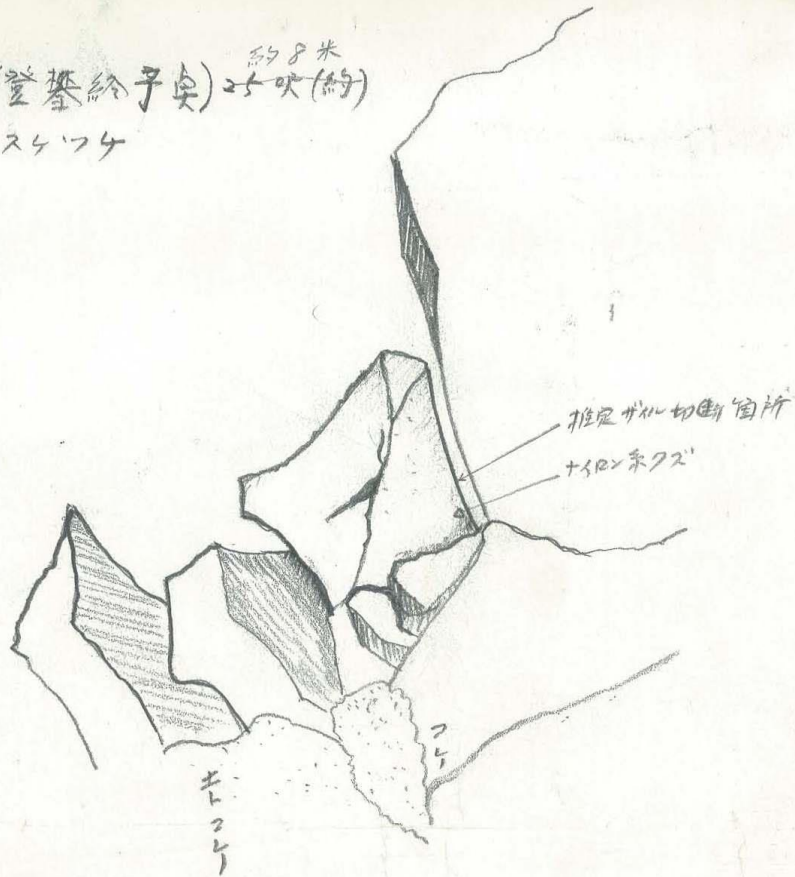
現場にて拾得物 (1) ガルとかけた岩面に附着していたもの  
(1) アイロンガールの糸クズ (三種類、女性用の袋に小包で持ち帰る)  
2) ビニール袋 軸  
カニの殻、マフタ、ビニール、ナイロンの袋 (昼食用に入れて)  
クワ、ノコギリ、ハシ、ノコギリ、縮紐

## 現場調査時、見物者

北穂会 山本氏、信州大学山岳部員 二名

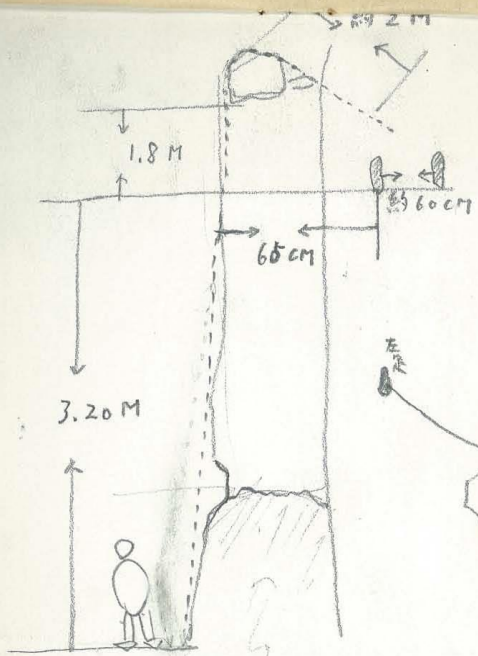
南山大学山岳部員 中世古隆 他一名

直上(登攀給予突) <sup>約8米</sup> 吹(約)  
 211ノスケッチ



岩断面図  
 ス定X印切斷箇所

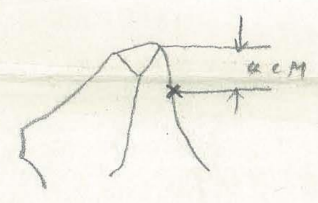




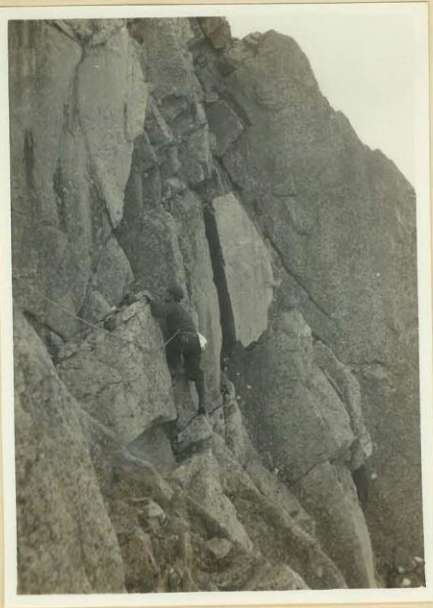
左足からタンヘル位置  
マテ岩、斜度ニソマテ 3.2 M  
岩、下、腹から左足ノ高マテ  
1.8 M  
左足からメーカイルマテ  
ノ水平距離 65 cm

左足マテ約 2 M

フクス テスト



フクス、長さ 2 M.	
NO 1	2 KG
NO 2	5 KG
NO 3	6 KG
NO 4	3 KG
NO 5	5 KG



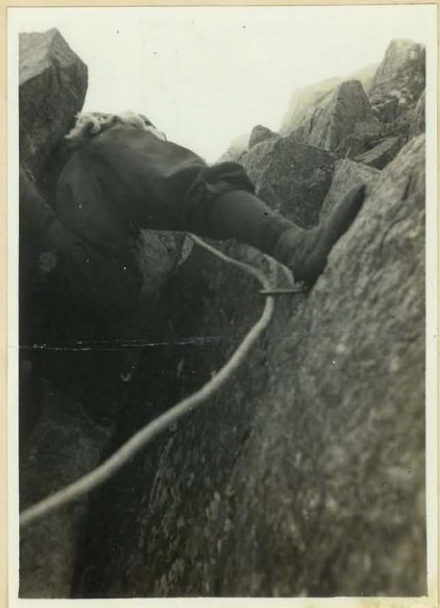
足下のくぼみは ビバーク地矣



白雲の印は 墜落直前の若山の  
足あつた場所

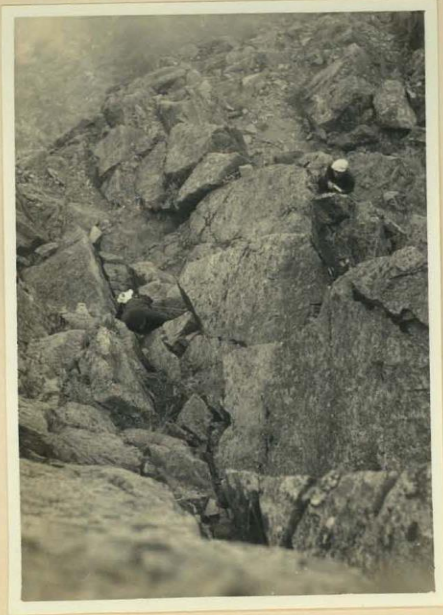


ビバーク地矣 蓋に ビバーク  
状況



24





ガレを 向題の岩角に かけ  
11子所

